



VSC、VASA Provider、 SRA仮想アプライアンスを導入する

VSC, VASA Provider, and SRA 9.7

NetApp
March 21, 2024

This PDF was generated from <https://docs.netapp.com/ja-jp/vsc-vasa-provider-sra-97/deploy/reference-deploment-customization-requirements.html> on March 21, 2024. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

VSC、VASA Provider、SRA仮想アプライアンスを導入する	1
---	---

VSC、VASA Provider、SRA仮想アプライアンスを導入する

Virtual Storage Console (VSC)、VASA Provider、Storage Replication Adapter (SRA) 仮想アプライアンスを環境に導入し、アプライアンスを使用できるように必要なパラメータを指定する必要があります。

作業を開始する前に

- サポートされているリリースの vCenter Server が実行されている必要があります。



VSC、VASA Provider、SRA仮想アプライアンスを登録できるのは、Windows環境のvCenter ServerまたはVMware vCenter Server Virtual Appliance (vCSA) 環境です。

"Interoperability Matrix Tool : VSC 9.7"

- vCenter Server 環境を設定およびセットアップしておく必要があります。
- 仮想マシン用の ESXi ホストのセットアップが完了している必要があります。
- 「.ova」ファイルをダウンロードしておく必要があります。
- vCenter Server インスタンスの管理者のログインクレデンシャルが必要です。
- vSphere Clientのすべてのブラウザセッションからログアウトして、ブラウザを閉じておく必要があります。また、VSC、VASA Provider、SRA仮想アプライアンスの導入時にブラウザキャッシュ問題 がブラウザキャッシュに表示されないようにするには、ブラウザキャッシュを削除しておく必要があります。

vSphereにキャッシュされているダウンロード済みプラグインパッケージをクリーンアップします

- Internet Control Message Protocol (ICMP) を有効にしておく必要があります。

ICMPが無効になっていると、VSC、VASA Provider、SRA仮想アプライアンスの初期設定が失敗し、導入後にVSCがVSCサービスとVASA Providerサービスを開始できなくなります。導入後に、VSC サービスとVASA Provider サービスを手動で有効にする必要があります。

このタスクについて

VSC、VASA Provider、SRA仮想アプライアンスを新規に導入する場合は、VASA Providerがデフォルトで有効になります。ただし、以前のリリースの仮想アプライアンスからアップグレードする場合は、アップグレード前のVASA Providerの状態が維持されるため、VASA Providerを手動で有効にしなければならない場合があります。

"仮想データストアを設定するための VASA Provider の有効化"

手順

- vSphere Client にログインします。
- ホーム[ホストおよびクラスタ]メニューを選択します。
- 必要なデータセンターを右クリックし、* OVA テンプレートの導入 * をクリックします。
- 該当する方法を選択してVSC、VASA Provider、SRAの導入ファイルを指定し、* Next *をクリックします。

場所	アクション
URL	VSC、VASA Provider、SRA仮想アプライアンスの「.ova」ファイルのURLを指定します。
フォルダ	VSC、VASA Provider、SRA仮想アプライアンスの「.ova」ファイルを保存先から選択します。

5. 詳細を入力して、導入ウィザードをカスタマイズします。

を参照してください "[導入のカスタマイズに関する考慮事項](#)" を参照してください。

6. 構成データを確認し、[次へ*]をクリックして導入を終了します。

展開が完了するまで待つ間に、[タスク]タブから展開の進行状況を表示できます。

7. 仮想アプライアンス仮想マシンの電源をオンにして、仮想アプライアンスを実行している仮想マシンのコンソールを開きます。
8. 導入の完了後に、VSC、VASA Provider、SRAの各サービスが実行されていることを確認
9. VSC、VASA Provider、SRA仮想アプライアンスがいずれのvCenter Serverにも登録されていない場合は、「+ https://appliance_ip:8143/Register.html」を使用してVSCインスタンスを登録します。
10. vSphere Clientからログアウトして再度ログインすると、導入したVSC、VASA Provider、SRA仮想アプライアンスが表示されます。

vSphere Client でプラグインが更新されるまでに数分かかる場合があります。



ログインしてもプラグインが表示されない場合は、vSphere Clientのキャッシュをクリーンアップする必要があります。 [vSphereにキャッシュされているダウンロード済みプラグインパッケージをクリーンアップします](#)

完了後

[NOTE]

====

ONTAP 9.6以前を使用している場合、vVolダッシュボードを表示するには、をダウンロードしてインストールする必要があります。ただし、ONTAP 9.7の場合は、VASA Providerに登録する必要はありません。

====

xref:{relative_path}task-register-oncommand-api-services-with-the-virtual-appliance-for-vsc-vasa-provider-and-sra.adoc[VSC、VASA Provider、SRA仮想アプライアンスに登録する]

:leveloffset: +1

```
[[ID09c4e4120e0ba9b4a24e6581c4a86bc6]]
```

= 導入のカスタマイズに関する考慮事項

```
:allow-uri-read:  
:icons: font  
:relative_path: ./deploy/  
:imagesdir: {root_path}{relative_path}../media/
```

```
[role="lead"]
```

VSC、VASA Provider、

SRA仮想アプライアンスの導入をカスタマイズするときは、いくつかの制限事項について考慮する必要があります。

== アプライアンスの管理者ユーザのパスワード

管理者パスワードにはスペースは使用できません。

== アプライアンスのメンテナンスコンソールのクレデンシャル

メンテナンスコンソールにアクセスするには、「 maint
」ユーザ名を使用する必要があります。導入時に「 maint
」ユーザのパスワードを設定できます。パスワードは、VSC、VASA Provider、
SRA仮想アプライアンスのメンテナンスコンソールの*アプリケーションの設定*メニューを使用して変更できます。

== vCenter Server 管理者のクレデンシャル

vCenter Serverの管理者クレデンシャルは、VSC、VASA Provider、
SRA仮想アプライアンスを導入するときに設定できます。

vCenter Serverのパスワードが変更された場合は、次の
URLを使用して管理者のパスワードを更新できます。`_https_://<IP>:8143/Register.html`
。IPアドレスは、VSC、VASA Provider、SRA仮想アプライアンスの導入時に指定した
IPアドレスです。

== vCenter Server の IP アドレス

* VSC、VASA Provider、SRA仮想アプライアンスの登録先となるvCenter
ServerインスタンスのIPアドレス（IPv4またはIPv6）を指定する必要があります。

+

生成される VSC 証明書と VASA 証明書のタイプは、導入時に指定した IP アドレス（IPv4 または IPv6）によって異なります。VSC、VASA Provider、SRA仮想アプライアンスの導入時に静的IPの詳細とDHCPを入力していない場合は、IPv4アドレスとIPv6アドレスの両方がネットワークから提供されます。

* vCenter Serverへの登録に使用するVSC、VASA Provider、SRA仮想アプライアンスのIPアドレスは、導入ウィザードで入力したvCenter Server IPアドレスのタイプ（IPv4 またはIPv6）によって異なります。

+

vCenter Server の登録時に使用したものと同一タイプの IP アドレスを使用して、VSC と VASA の両方の証明書が生成されます。

[NOTE]

====

IPv6 は vCenter Server 6.7 以降でのみサポートされます。

====

== アプライアンスのネットワーク・プロパティ

DHCPを使用していない場合は、有効なDNSホスト名（非修飾）と、VSC、VASA Provider、SRA仮想アプライアンスの静的IPアドレス、およびその他のネットワークパラメータを指定します。これらのパラメータはすべて、適切なインストールと運用のために必要です。

:leveloffset: -1

:leveloffset: -1

<<<

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明

示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data - Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、link:<http://www.netapp.com/TM>[<http://www.netapp.com/TM>^]に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。